



JIMBOCHO COFFEE

TOP

プロジェクトについて

ブログ

神保町発、明治大学SDGsコーヒー

コーヒーと神保町のおすすめ本

神保町のカフェ

神保町コーヒーMAP

お問い合わせ

インタビュー

神保町のまちづくりをどうしたらよいか、ダイバーシティにどう取り組むか？ — 高山本店4代目社長、高山肇さんに訊く

松村愛子（3年）

7月20日のゼミでは、[高山本店](#)4代目社長の高山肇さん（元千代田区議会議員）、神保町地区地域コミュニティ活性化委員会・委員長の青野芳久さん、[千代田区神保町出張所](#)長の武笠真由美さんにお越しいただきました。



お話しされる高山本店4代目社長、高山肇さん

まず、3名の方から講義形式で「神保町の魅力と課題」について伺った後に、3班に分かれ個別にインタビューをさせていただきました。今回は高山さんに「神田古書センター設立」「古書店と神保町」「まちづくり」「バリアフリーを促進する神保町」についてお伺いしましたので、それを記事にさせていただきました（青野さんへのインタビューの記事は[こちら](#)から読んでいただけます。武笠さんについて、順次、掲載させていただきますので）

Search

最近の投稿

WHO（世界保健機関）事務局長補の山本尚子氏にお話をお伺いしました

明治大学のホームページで「3分の1のパン屋さん」を取り上げていただきました

「サステイナブル コーヒーで世界を変える」 José. 川島 良彰氏インタビュー

知られざるアフリカの妊産婦事情 — 藤田由布医師のニジェール体験記

ハフポストに記事が掲載されました！「明大生が一晩だけ開店した『3分の1パン屋さん』。店名に込めた『食品ロス』の2つの問題」

最近のコメント

新着記事



WHO（世界保健機関）事務局長補の山本尚子氏にお話をお伺いしました

明治大学のホームページで「3分の1のパン屋さん」を取り上げていただきました



「サステイナブル コーヒーで世界を変える」 José. 川島 良彰氏インタビュー



知られざるアフリカの妊産婦事情 — 藤田由布医師のニジェール体験記



神保町駅すぐの神田古書センター。1Fが高山本店。2Fにカレーの名店、ボンディがある。

神田古書センター設立

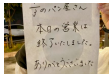
まず始めに神田古書センター設立について伺いました。50年ほど前に木造住宅を建て直した際に神田古書センターは立ち上げられました。当時、ゼネコンから一階を書店にし、2階以降をオフィスにしたほうがいいと提案されましたが、高山さんは他県からの古書店進出の可能性を考慮し、また神保町のありようを見越して神田古書センターを建てたそうです。街の行く末を見据えて神田古書センターは昭和53年（1978年）2月11日に開店しました。

また開店する際に、イギリスに2年ほど留学した時のロンドンで食べたカレーを忘れられず、インディアの村田さんに神保町への出店を頼み込んだそうです。その結果、現在は、神田古書センターの2階にカレーの有名店である**ボンディ**があります。その当時、現在では3つ開通している地下鉄は1線（三田線）のみ開通していました。神保町を取り巻く交通の便も約40年で大きく変わったのです。

さらに、街を作っていくうえで重要なのはビルのオーナーの「思い」であると強調されました。「このようなお店をやりたい。」「こういう街にしたい。」というビジョンを持つことが大切だということです。街に対するビジョンは街の発展に結びつく、このビジョンを持続けることは、どの分野においても発展していく



エール体験記



ハフポストに記事が掲載されました！「明大生が一夜だけ開店した『3分の1パン屋さん』。店名に込めた『食品ロス』の2つの問題」

アーカイブ

2021年10月

2021年9月

2021年8月

2021年7月

2021年6月

2021年4月

2021年3月

2021年2月

2021年1月

2020年12月

2020年11月

2020年10月

2020年9月

カテゴリー

インタビュー

ニュース

分析

掲載誌

メタ情報

ログイン

投稿フィード

コメントフィード

WordPress.org